

日本褥瘡学会誌 論文作成および査読の AI の使用について

一般社団法人日本褥瘡学会 編集委員会

近年、AI（人工知能）、特に生成 AI の発展が進み、学術分野でも論文作成や査読において AI の活用が急速に進んでいます。その一方、AI は不正確な内容の生成や著作権の侵害など問題点も多く、規制の整備が追い付いていないのが現状です。

編集委員会としては、AI を適切に使用することで文章の精度が上がるなど良い点もあることから、使用を一律禁止とするのではなく、「適正使用、また使用した場合の申告の義務化」の方針といたします。論文作成、査読をされる会員の皆様におかれましては、以下の事項に留意いただき適切な使用をお願いします。

なお、AI の使用については今後も情勢を注視し、適宜見直しを行います。

・論文作成について

論文の作成において AI を使用する場合は、使用した作業内容および使用した AI のツール名とそのバージョンを本文中に記載してください。AI はあくまでも論文作成の補助ツールとして使用し、論文についての最終的な責任は著者にあるものとします。なお、図（イラスト）の作成に AI を使用する場合は、インターネット上の画像を AI が使用することがあり、著作権侵害となる恐れがありますので、その点を十分に留意してください。

論文記載例：

以下の作業について、AI を使用した。

作業：日本語要旨の英訳

ツール：ChatGPT（バージョン：GPT-4）

・査読について

査読に AI を使用する場合は、論文データをアップロードすることで、未公開かつ内容が精査されていない情報がインターネット上に漏洩する恐れがあります。実際に他学会では査読中論文のデータが流出した事案も発生していますので、査読に AI を使用する際は、その点を十分にご留意ください。また、査読内容の最終的な責任は査読者にあるものとします。

査読に AI を使用した場合は、使用した作業内容および AI のツール名とそのバージョンを査読録入力フォームの事務局・編集委員会への連絡欄にて申告してください。

申告例：

以下の作業について、AI を使用しました。

作業：英文の校正

ツール：ChatGPT（バージョン：GPT-4）